正　誤　表

「シンプル理学療法学シリーズ 小児理学療法学テキスト（改訂第３版 第３刷）」
下記の箇所に誤りがございました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
47	下から３行目	文末で改行し，以下を追加 ■保護伸展反応は，転倒から身を守り，姿勢の安定と保護に関与する．	
48	① 脊髄レベル a.　探索（四方）反射 rooting reflex b.　吸啜反射 sucking reflex	51 頁～「② 脳幹レベル」内に移動（項目 a，b として挿入）	
56	④ 皮質レベル b.　保護伸展反応 protective extension reaction（パラシュート反応 parachute reaction）	53 頁～「③ 中脳レベル」内に移動（項目 f として挿入）	
74	memo 内，上から３，４，５行目	出生児体重	出生時体重
100	下から１行目	座骨や上肢～	坐骨や上肢～
105	「機能的スキル」および「介助者による援助の表	Row Score	raw score
106	memo 内 上から４行目	Row Score	raw score
123	上から 10 行目	脳質の変形を認め	脳室の変形を認め
124	図 8-14（図説）	脳質の変形が	脳室の変形が
191	図 13-1 a 臨床象の耐用性・進行速度	緩徐なもの デュシェンヌ型筋ジストロフィーなど 急速なもの 顔面肩甲上腕型ジストロフィーなど	緩徐なもの 顔面肩甲上腕型筋ジストロフィーなど 急速なもの デュシェンヌ型筋ジストロフィーなど
226	図 15-2（左側の囲み）	披裂咽頭蓋ひだ軟化症	披裂喉頭軟化症
	下から２行目	披裂咽頭蓋ひだ軟化症は～	披裂喉頭軟化症は～
288	下から７行目	被裂部の～	披裂部の～

279	学習到達度自己評価問題の解答，第 4 章	5-○	5-×：モロー反射が消失（消退）していなければならない．
		9-×：STNR が消失していなければならない．	9-×：STNR が消失（消退）していなければならない．

2024 年 1 月 23 日

株式会社南江堂